



## 平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月11日

上場取引所 東

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社  
コード番号 1994 URL <http://www.t-cw.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 高橋 武治

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 市川 尚

TEL 03-3271-1711

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	2,711	△7.3	443	△15.7	443	△15.8	444	△14.4
27年12月期第1四半期	2,924	100.2	525	241.1	526	247.7	518	248.1

(注)包括利益 28年12月期第1四半期 438百万円 (△16.4%) 27年12月期第1四半期 523百万円 (282.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年12月期第1四半期	49.88	49.83
27年12月期第1四半期	58.38	58.26

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年12月期第1四半期	11,219	5,950	53.0	668.41
27年12月期	11,907	5,690	47.8	639.17

(参考)自己資本 28年12月期第1四半期 5,949百万円 27年12月期 5,689百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年12月期	—	10.00	—	20.00	30.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	5,000	△6.0	800	△12.6	800	△13.4	780	△13.4	87.62
通期	7,500	△20.9	830	△53.6	850	△52.6	1,000	△42.4	112.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(平成28年5月11日)公表いたしました「第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期1Q	9,553,011 株	27年12月期	9,553,011 株
② 期末自己株式数	28年12月期1Q	651,263 株	27年12月期	651,263 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期1Q	8,901,748 株	27年12月期1Q	8,888,567 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本の経済は、政府の経済政策・日銀の金融緩和等の効果で雇用・所得環境の改善傾向は持続しているものの、中国をはじめとする海外経済の減速懸念や年明け以降の円高・株安などにより、企業の景況感は悪化し個人消費も引き続き停滞するなど、先行き不透明な状況が続いております。

建設業界においては、ゼネコンの最高益更新が目につき、来年、オリンピック需要の盛り上がりが見込まれるものの、足元の建設需要が落ち込んでおり、サブコン各社においては対応に苦慮しているケースが多数発生しています。

PCカーテンウォール業界も当面、仕事量はそれほど多くないため、各社、工場の稼働率がそれほど高まっておらず、製造する案件の確保が至上命題となっています。その中で、当社は今期の生産量はやや低下するものの、来年度プロジェクト増加に備え、4工場体制を維持する所存です。

また、工場の効率化推進、新商品の開発により、収益力の維持向上、マーケットの拡大を図ってゆきます。

当第1四半期連結累計期間における売上高は27億11百万円（前年同四半期比7.3%減）、営業利益4億43百万円（前年同四半期比15.7%減）、経常利益4億43百万円（前年同四半期比15.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億44百万円（前年同四半期比14.4%減）となりました。

なお、受注高は36億57百万円（前年同四半期比67.2%増）、受注残高は116億16百万円（前年同四半期比8.9%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ①PCカーテンウォール事業

第1四半期連結累計期間においては、着実に売上を伸ばし、採算面で適正な受注単価を保ったため、工場稼働率低下に伴い各利益率がやや低下したものの良好な収益構造を維持できました。

当セグメントの売上高は25億84百万円（前年同四半期比7.5%減）、セグメント利益は4億35百万円（前年同四半期比20.0%減）となりました。

## ②アクア事業

当第1四半期連結累計期間においては、フィットネスクラブ、消防訓練施設の受注が低調な状況であります。学校関連のプール施設等については受注が堅調に推移しております。

また、オリンピック関連の施設などの受注獲得をめざし営業力の強化を図ってゆきます。

当セグメントの売上高は1億3百万円（前年同四半期比17.2%減）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期は18百万円のセグメント損失）となりました。

## ③その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業（不動産賃貸事業を含む）であります。

当セグメントの売上高は23百万円（前年同四半期比335.0%増）、セグメント利益は5百万円（前年同四半期は0百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は112億19百万円と前連結会計年度末と比較して6億87百万円の減少となりました。これは主に受取手形・完成工事未収入金等が4億68百万円増加し、電子記録債権が4億78百万円及び未成工事支出金が8億57百万円減少したことによるものであります。

## ②負債の状況

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は52億69百万円と前連結会計年度末と比較して9億47百万円の減少となりました。これは主に、支払手形・工事未払金等が1億62百万円、未成工事受入金が3億84百万円及び流動負債その他が2億31百万円減少したことによるものであります。

## ③純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は59億50百万円と前連結会計年度末と比較して2億60百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により4億44百万円増加したことと、配当金の支払いにより1億78百万円減少したことにより2億65百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月10日に公表いたしました第2四半期連結業績予想を修正しました。

詳細につきましては、本日(平成28年5月11日)公表いたしました「第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	1,190,329	1,394,104
受取手形・完成工事未収入金等	1,015,816	1,484,048
電子記録債権	1,533,788	1,055,220
未成工事支出金	3,470,425	2,613,290
その他のたな卸資産	55,610	56,592
その他	56,389	63,292
流動資産合計	7,322,360	6,666,547
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	568,303	568,994
土地	1,789,691	1,789,691
その他(純額)	283,326	270,971
有形固定資産合計	2,641,321	2,629,657
無形固定資産	27,783	27,439
投資その他の資産		
投資有価証券	203,730	195,837
投資不動産(純額)	156,027	155,754
保険積立金	780,289	786,267
退職給付に係る資産	106,430	95,952
その他	698,053	690,877
貸倒引当金	△28,917	△28,917
投資その他の資産合計	1,915,615	1,895,772
固定資産合計	4,584,720	4,552,869
資産合計	11,907,080	11,219,417
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	838,941	676,810
短期借入金	990,431	990,431
1年内償還予定の社債	145,000	145,000
未成工事受入金	1,795,951	1,411,313
引当金	59,252	108,165
その他	487,704	256,139
流動負債合計	4,317,280	3,587,858
固定負債		
社債	382,500	310,000
長期借入金	898,811	756,203
役員退職慰労引当金	393,832	399,348
その他	224,568	215,673
固定負債合計	1,899,711	1,681,224
負債合計	6,216,991	5,269,083

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,283,171	3,283,171
利益剰余金	2,382,099	2,648,079
自己株式	△119,487	△119,487
株主資本合計	5,645,782	5,911,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,969	38,235
その他の包括利益累計額合計	43,969	38,235
新株予約権	336	336
純資産合計	5,690,088	5,950,334
負債純資産合計	11,907,080	11,219,417

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
完成工事高	2,924,539	2,711,510
完成工事原価	2,245,255	2,105,743
完成工事総利益	679,284	605,766
販売費及び一般管理費	153,675	162,434
営業利益	525,608	443,332
営業外収益		
受取利息	112	119
投資不動産賃貸料	2,343	1,980
受取家賃	3,314	2,974
鉄屑売却収入	6,741	3,976
その他	2,669	1,357
営業外収益合計	15,181	10,407
営業外費用		
支払利息	9,720	7,656
不動産賃貸費用	971	914
その他	3,659	1,711
営業外費用合計	14,351	10,282
経常利益	526,438	443,456
特別損失		
固定資産除却損	5,900	1,153
特別損失合計	5,900	1,153
税金等調整前四半期純利益	520,538	442,303
法人税、住民税及び事業税	2,595	2,595
法人税等調整額	△934	△4,307
法人税等合計	1,660	△1,711
四半期純利益	518,877	444,015
親会社株主に帰属する四半期純利益	518,877	444,015

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益	518,877	444,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,076	△5,734
その他の包括利益合計	5,076	△5,734
四半期包括利益	523,954	438,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	523,954	438,280

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,794,069	125,011	2,919,080	5,458	2,924,539	—	2,924,539
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	—	—	—	1,537	1,537	△1,537	—
計	2,794,069	125,011	2,919,080	6,995	2,926,076	△1,537	2,924,539
セグメント利益又は セグメント損失(△)	544,524	△18,793	525,730	△564	525,165	442	525,608

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額442千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,584,288	103,478	2,687,766	23,744	2,711,510	—	2,711,510
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	—	—	—	1,500	1,500	△1,500	—
計	2,584,288	103,478	2,687,766	25,244	2,713,010	△1,500	2,711,510
セグメント利益	435,537	1,526	437,064	5,068	442,132	1,200	443,332

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益の調整額1,200千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。